

上田市教育委員会 1 月定例会会議録

1 日 時

平成 24 年 1 月 17 日 (火)

午後 2 時 35 分から午後 4 時 24 分まで

2 場 所

上田市教育委員会 (やぐら下庁舎) 2 階会議室

3 出席者

委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	金子 泰子
委 員	城下 敦子
委 員	小市 正輝
教 育 長	小山 壽一

説 明 員

小市教育次長、廣川教育参事、小野塚教育総務課長、中村学校教育課長、浅野生涯学習課長、小山人権同和教育政策幹、土屋文化振興課長、佐藤体育課長、下村丸子地域教育事務所長、藤沢真田地域教育事務所長、掛川武石地域教育事務所長、横尾第二学校給食センター所長、清水上田情報ライブラリー館長、足立中央公民館長、山崎西部公民館長、坪田上野が丘公民館長

・ あいさつ

<協議事項>

(1) 史跡上田城跡整備基本計画改訂及び保存管理計画策定について

資料1により土屋文化振興課長説明

小市委員

上田城跡整備基本計画は、これからの上田市にとって大変大事なことであるが、この計画では、お城だけが中心になっている。千本桜まつりもそうだが、大勢の観光客が来て渋滞になっており、お城の整備だけでいいのか考えなければならないと思う。大型バスで混雑しているため乗用車がUターンして帰る状況もあるが、その点の整備についてはどうか。

土屋文化振興課長

基本的には上田城跡の史跡の整備をどうするかという計画である。例えば、市民会館の跡地を武者溜まりにすると60～70台の駐車場が潰れてしまうことになり、青少年ホームの辺りを駐車場にするなどの考えはあるが、城跡周辺の都市計画的な分野までは踏み込んだ計画ではない。

西田委員長

上田市の都市計画とどう整合性を持たせるかという観点も必要だろう。史実に忠実であることも重要だが、人間の営みはその時代時代で大きく変化してきている。どの時代のどこに狙いを合わせて復元させるのか疑問である。そこにこだわると整備もできないのではないかと心配になる。

土屋文化振興課長

資料の中に江戸時代中期頃の絵図面があるが、基本的には幕末当時の上田城を復元したいという要望である。幕末当時の上田城はかなり荒れ果てていて、付近が林のようになり櫓も荒れていた。当時は、写真の技術も入り始めており、復元にはその頃の資料を集めなければならない。

金子委員

市民の関心も非常に高い。市民会館の移転が決まり整備をいろいろと進めるようだが、博物館や市民プールなどもあり、今後の方針は決まっているか。

土屋文化振興課長

直接お城の歴史に関係がないものは、いずれ移動する予定である。上田城跡が史跡に指定されたのが昭和9年であり、テニスコート、グラウンドは昭和3年くらいにつくられたそうである。

西田委員長

整備するのは、基本的に図面の赤い線の中と理解していいか。

土屋文化振興課長

整備計画は史跡の中のことであり、史跡の範囲は赤線の内部である。

金子委員

植栽計画の「ゾーニング」とはどういうことか。

土屋文化振興課長

ソメイヨシノの桜自体は、整備復元を目指す当時のお城の中にはなかったが、ある程度「ゾーン」を決めて植樹して整備したい。

城下委員

観光客や歴史好きの子どもたちのためにも、夢とロマンを膨らませるような「ゾーン」になるといい。駐車場整備も含めて、この場所が素晴らしい場所になればと思う。

西田委員長

史跡整備と都市計画について、史跡が持つ意味とどう整合性を持たせるかむずかしい問題である。単に古いものを復元することが今の時代に求められることなのか。市民生活にとってどういう役割を果たすのかも考えなければならない。単に復元すれば良いというものではない。上田市全体でどう位置付けるかという観点を常に失わないでほしい。

かつて、工事等で文化庁から細かい指示を受け苦労したと聞いている。歴史的な史跡を大事にすることは良いが、市民生活と整合性ということがどう折り合いをつけるか難しい。専門家は、上田市に居住しておらず外部からの方が多い。史跡を守るという観点だけで良いのか、上田市として望ましい発想をどれだけ付け加えられるのかがポイントになる。

小山教育長

上田城は史跡として既に指定されており、史跡と関係のないものは基本的には撤去しなければならない。史実に忠実に復元することで文化庁から補助金も出るが、そのほかのことは史跡の指定が解除されなければできないことになる。

例えば、市立博物館については史跡の中にあってもいいが山本鼎記念館は上田城とは関係のないものだから駄目であるなど、さまざまな制約が出てくるため、史跡としての指定は限定的なほうが良いと個人的には考えている。検討委員会の先生方には、上田城跡は一方においては市民公園であることもご理解いただいております。今後も整備内容は検討していくことになるだろう。

西田委員長

この整備計画策定に関する予算はあるか。

土屋文化振興課長

委員の報酬に60万円、印刷製本の関係で50万円程ある。

西田委員長

例えば、古い史料が出てきた場合の買い上げや保存には、どう対応するのか。

土屋文化振興課長

買い取りなどはすぐに予算化できないこともあり、提供していただくようお願いしている。実際にはあまり出て来ない。

全委員 了承

< 報告事項 >

(1) 平成24年上田市成人式実施報告

(2) 平成23年度「家庭の日」作文審査結果及び「青少年善行表彰」結果

資料2 1、2 - 2により浅野生涯学習課長説明

小市委員

上田市民会館(一中、二中、三中)の参加率が67.4%と他に比べて少ないが、昨年の開催場所である文化会館ではどうだったか。

浅野生涯学習課長

文化会館での出席率も悪く71.0%である。例年、一中、二中、三中の会場での出席率は低い。確かな理由はわからない。

城下委員

推測するに、3つの中学校をまとめてやるため子どもたちにとっては「別にいいか」という感覚があるように思う。これまでを振り返り成人となったこれからを考える良い機会であり、なるべく大勢の新成人が集う式典になるとよい。会場を変える、子どもたちに直接働きかけるなどのほか、親にも声かけがあると参加率も違うと思われる。

浅野生涯学習課長

新成人を地域を挙げてお祝いする貴重な行事だと認識しているので、ご家族の協力も含め、実行委員を早めに募集して準備に向けきめ細かな声かけができるよう努めたい。

金子委員

無事に終了したとの報告があったが、何ごともなく終わって良かったではなく、楽しくとか立派にとか、より有意義な会になると良い。参加者が主体となり参加者の声をもっと聞ける会にならないか。上の者の式辞をただ聞くのではなく、若い成人の声を聞くことのできるような会であればという期待があり、何か工夫があればお願いしたい。

家庭の日の作文については、作品と同時に寸評にも目がいくが、この寸評は誰が書くのか。どういうところが良いか、どういうところに気をつけなければならないかが示されており、寸評も評価したい。

浅野生涯学習課長

審査員は、各公民館の社会教育指導員、事務局を担当している青少年係の指導員及び人権同和教育推進の指導員の11人で構成しており、共同で審査した結果をもとに事務局が書いている。

城下委員

毎月第三日曜日を「家庭の日」として作品を募集したが、他に「家庭の日」としての活動はあるか。

浅野生涯学習課長

例えば、博物館等の公共施設への入場が割引になるという制度も設けている。啓発活動として第三日曜前には必ず有線放送等で「家庭の日だから是非皆さん家族一緒に過ごそう」とアナウンスしている。

城下委員

この作品集はホームページに載っているが、たくさん子どもたちに読ませる手立てはあるか。特別に配布はしないのか。

浅野生涯学習課長

629点の作品を寄せてくれた子どもたちに対しては作品集を配布している。

全委員 了承

(3) 全国公民館ホームページコンクールの受賞について

資料3により山崎西部公民館長説明

金子委員

ホームページは読みやすく内容も充実している。3月から12月にかけてアクセスが9.

5 倍になった理由をどう考えるか。

山崎西部公民館長

増えた理由は、見やすく情報量を多くしたためと考えている。これまでは公民館の開館時間や施設の概要のみだったが、お知らせ、活動報告、講座の資料、講演会の講演内容等を公開した。また、毎日 1 回、西部公民館日記をブログ形式で更新し新たな情報を発信しているため、1 回見ればその後も見るきっかけになると思われる。

城下委員

西部公民館の受賞だが、西部公民館だけでなく他の公民館へも広めてもらいたい。

山崎西部公民館長

公民館のつながりだけでなく生涯学習課を含め、見やすいホームページづくりについてさまざまな場面で話し合いが行われており、他の公民館等も大変見やすくなりつつある。

金子委員

最優秀賞を狙って頑張ってもらいたい。上田市にはマルチメディア情報センターがあり技術的な援助もあるので、次の目標があると更によい。

全委員 了承

(4) シリーズ文化講演会の開催について

(5) わくわく芸術体験の報告について

(6) 第 11 回うえだ子ども文化祭の開催について

資料 4、資料 5、資料 6 により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

(7) 行事共催等申請状況について

資料 7 - 1 により中村学校教育課長説明

全委員 了承

資料 7 - 2 により浅野生涯学習課長説明

全委員 了承

資料 7 - 3 により土屋文化振興課長説明

小市委員

「T O S S 五色百人一首」は参加費等があるのか。また、長野県大会で、長野市教育委員会、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局が後援しているが、上田市に後援依頼があるのはどういう経過か。すべての教育委員会に申請しているのか。

土屋文化振興課長

参加費は無料である。実施要項では、ほぼ全県の教育委員会が後援となっている。

全委員 了承

(8) さくら国際高等学校の学校評価について

資料 8 により小野塚教育総務課長説明

金子委員

本来特区法に基づいて上田市が毎年度評価を公表する必要があったが、今年度まで行われなかった理由は何か。

小野塚教育総務課長

設置時には学校評議委員会が開かれたが、その後は事務に怠りがあり評議委員会が設置されてこなかった。これまでの反省に立って改めて評議委員会を設置し評価を行った。今後は毎年度評価を行う予定である。

金子委員

評価を実際に行なったのは誰か。

小野塚教育総務課長

実務的には教育総務課がある程度の原案をまとめている。学校評議委員会に原案を提示し、意見をまとめながら最終的な評価となった。

小市委員

さくら国際高等学校に対しては、年々地域や長野県下からの注目が増している。今回の学校評価はホームページにアップされ、誰もが見ることができるのか。

小野塚教育総務課長

上田市のホームページで公表する予定である。

西田委員長

これはどこかに提出するものか。

小野塚教育総務課長

特にはない。文科省から調査がある場合は、提出を求められることもある。

金子委員

教育課程には特別な教科・科目は設けられていないが、進学する生徒は多いようである。進学と教育課程との関係については、どう評価したか。

小野塚教育総務課長

通信制の教育課程があり、これに基づいている。

金子委員

進学にはきちんと対応できるのか。

小野塚教育総務課長

当然高校卒業の資格が得られる単位は確保してある。

西田委員長

上田市が認可しているが、事務は教育委員会ということか。

小野塚教育総務課長

市長名で上田市が特区申請をしており、学校設置の認可をしているのは上田市である。本来、市長部局が学校について監督するところであるが、補助執行として事務の取り扱いを教育委員会に任せられている。報告や通知は市長名で行っている。

金子委員

学校の自己評価は、平成20年度から実際行っているとある。生徒の意見や保護者の意見、地域が学校に対して持っている意見などが明らかになるものは、この自己評価の中に入っているか。

小野塚教育総務課長

学校自己評価等は堅苦しいイメージがあり、学校として堅いホームページにしたいくないという意図があるので、自己評価についてホームページで公表されていないと聞いている。

金子委員

実際に通っている生徒の意見や保護者の意見、地域の意見は知りたいと思う。自分たちの殻に閉じこもり、そんなことが行なわれていたのかということがないように、公表する必要があるのではないか。

小山教育長

公表としては、年に1回「さくら通信」という小冊子を出している。その中には、在校生の感想や地域の声が載せられている。自己評価を公表することは、学校にとって宣伝にもなり公表することを勧めたが、学校の方針として公表しないということである。今回の評議員の中には卒業生の保護者もいたが、この地域では高い評価が得られていると思われる。

全委員 了承

<その他>

資料「うえだ人権フェスティバル」により小山人権同和教育政策幹説明

資料「放射線とは何か？健康への影響は？」「中央公民館だより」により足立中央公民館長説明

西田委員長

「放射線とは何か？」の講演会の申込み状況はどうか。

足立中央公民館長

現在、250人中35人くらいである。テレビ中継があるので、直接聞かずそちらへ流れているのではないか。

佐藤体育課長

現在、オーストリアで第1回ユースオリンピック冬季大会が開催されている。その大会には、菅平中学出身で現在飯山高校1年生が、アルペンスキーの女子代表で出場している。アルペンスキー女子代表は1人だけなので、大回転、スーパー大回転、回転、スーパーコンバインドといくつも出場している。国際オリンピック委員会が主催する正式なユース対象のオリンピックであり、上田市出身の選手が出ているということで注目していただきたい。

西田委員長

上田地域の公民館だよりの紹介では、各公民館でのきめ細かな催しが見て取れる。丸子、真田、武石の各地域の広報等はどういう状況か。

下村丸子公民館長

丸子地域では「丸子地域協議会だより」に公民館のページを1ページ設けている。そこに各行事の紹介や計画等を年4回掲載している。

藤沢真田公民館長

真田公民館だよりは、毎月ではなく年4回各戸配布で出している。

掛川武石公民館長

武石地域では、「武石自治センターだより」が年6回発行されており、この一部のページを使い「公民館だより」という形で配布している。

全委員 了承

閉会